

令和3年度 町内会活性化講座(相談会) 結果概要

相談テーマ① 輪番制を活用した町内会運営

日時:令和4年1月16日(日)10:00~11:30 場所:オンワード樫山仙台ビル10階ホール

●参加した町内会の現状や相談の内容

【泉区】A 町内会 (530 世帯)

- 輪番制(2年交代)を導入しているが、高齢化に伴い、役員業務がうまく立ち行かなくなっている。
- 役員の個人のスキルが違うため、できる仕事内容も違うと感じている。
- 数年後にはさらなる担い手不足になることを懸念している。

【青葉区】B 町内会 (430 世帯)

- 役員の担い手不足のため、輪番制の導入も検討しているが、役員業務がうまく進むか心配。
- 町内会で役員選出委員会を立ち上げて検討もしているが、役員の担い手がいない。

【泉区】C 町内会 (420 世帯)

- 輪番制で役員を交代している。役員は1年ごとに班から選出しているが、1年では仕事がわかるようにはならない。
- 一般会員とのコミュニケーションがうまくとれていないと感じている。

【青葉区】D 町内会 (150 世帯)

- 役員は輪番制で1年ごとに代わるが、役員の担い手不足や輪番制に対する不満(数年で回ってくることや役員をやらない人への不満)の解消方法を考えたい。
- 高齢化で役員をできる人が10人ぐらしかいなくなってしまった。



【講師からのアドバイス】輪番制を用いた町内会運営のポイント

○輪番制で上手く回すための事業の見直しやマニュアル作り

- 輪番制で誰が役員になっても、円滑に事業を運営できるように、事業ごとのマニュアルを作り、業務の標準化を行う。
- 誰でも役員の仕事を効率的に行うことができるように、負担の多い事業を見直す。
- 事業の見直しにあたっては、会員に対してアンケート調査を行うなど、まずは会員のニーズを把握してみる。

○会員に対しての効果的なアプローチ

- 会員に対してのアンケート調査では、「町内会で担い手が不足して困っている」といった課題をしっかりと伝える。
- 会員のニーズにあった事業の抽出、町内会活動における情報発信の見直しのほか、広報活動や夏祭りなどでお手伝いしてもらった“サポーター”として活動できる会員を見つけ、役員の負担を少しでも軽くする。